

十一月例会 インスピレーション

『今、思う』 ITCIJ浜松クラブ 鈴木三枝子

ある日、真向いの家に犬が来た。
外で飼われている。

推定年齢五歳くらいと思われる。

白色で愛嬌があるが寂しげな目が人を惹きつける。

アツという間に通行人に愛され可愛がられている。

しかし

夕方になると、走行中の車にひたすら反応し吠える・・・吠える。

なぜなのか・・・保護されていた犬と聞く。

コロナ禍の中、人は、不安におびえ、感染者をあらゆる手段で攻撃する。

同調圧力が強化され、家族は、さらに自粛警察におびえ

心身ともに傷つき、転居したと聞く。

人は誰しも「繊細」です。

他人の言動に傷つき、苦しみ

新たな生き方を見いだせない人もいる。

悲しいニュースが流れる。

コロナの影響で日本社会の問題点が浮上した。

私たち会員は、秩序ある会合の運営に心がけたいと思う。

ロバート議事法規則を参考に発行された

ITCIJ議事法マニュアルを紐解き

ITCIJ会則に抵触しないよう留意しながら

浜松クラブ会則に取り組みたいものです。

会員は、会員歴、環境に関係なくすべて平等です。

自由に意見を述べ話し合いましょう。

コミュニケーション技術を学ぶ良い機会です。

相手を思う心も忘れずに、

規律に沿った会合の向上に努めたいと思います。

二〇二十年十一月十六日